

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会

拠点設置検討部会（第1回）議事次第

日時：平成30年6月6日（水）

10:30～12:00

場所：グランディエールブクトーカイ
4階ワルツ

○ 開会

○ 議題

- 1 静岡県が目指す大学院大学のあり方について
- 2 大学院大学の設置に向けた需要調査の実施について
- 3 その他

○ 閉会

資料

議事次第

- 資料1 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会拠点設置検討部会委員名簿
- 資料2 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会・検討部会の進め方
- 資料3 静岡県が目指す大学院大学のあり方
- 資料4 大学院大学の設置に関し文部科学省と協議を要する事項
- 資料5 静岡県が目指す大学院大学のあり方に関する論点
- 資料6 大学院大学の設置に向けた需要調査（案）

参考資料 大学院の課程（修士課程、専門職学位課程）

参考資料 大学院の事例（大学院大学、独立研究科）

参考資料 需要調査の事例

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会

拠点設置検討部会委員名簿

(敬称略、50音順)

氏名	所属・役職等	備考
みやち よしき 宮地 良樹	静岡県立総合病院参与兼リハビリセンター長 (京都大学名誉教授)	部会長
きとう ひろし 鬼頭 宏	静岡県立大学学長	
つるた けんいち 鶴田 憲一	全国衛生部長会会長 (静岡県理事(医療衛生担当))	
とくなが こうじ 徳永 宏司	静岡県医師会副会長	
なかやま たけお 中山 健夫	京都大学大学院医学研究科副研究科長 社会健康医学系専攻長・健康情報学分野教授	
まつだ ふみひこ 松田 文彦	京都大学大学院医学研究科 附属ゲノム医学センター センター長・教授	
みやた ひろあき 宮田 裕章	慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授 東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座特任教授 国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター 国際保健システム・イノベーション研究科研究科長	
もちづき りつこ 望月 律子	静岡県訪問看護ステーション協議会会長	

計8名

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会・検討部会の進め方

区分	役割	第1回	第2回	第3回
社会健康医学推進委員会 (公開)	社会健康医学研究推進基本計画で定めた4つの基本方針に基づく県の施策についての検討 <ul style="list-style-type: none"> 研究の強化・充実に向けた検討 静岡県が目指す大学院大学の設置に向けた検討 	<5/15> <ul style="list-style-type: none"> 委員会運営方針の決定 部会への付託 	<10/23> <ul style="list-style-type: none"> 研究の強化・充実に向けた検討 大学院大学の構想(素案)の検討 	<1/23> <ul style="list-style-type: none"> 研究の進捗状況を報告及び研究の強化・充実に向けた検討 大学院大学の構想(案)の決定
研究推進検討部会 (非公開)	<ul style="list-style-type: none"> リサーチサポートセンター(社会健康医学研究センター)における研究を県が委託する上での専門的見地からの意見 研究の強化・充実に向けた検討 	<6/6> <ul style="list-style-type: none"> リサーチサポートセンター(社会健康医学研究センター)の研究を県が委託する上での専門的見地からの意見 	<9/7> <ul style="list-style-type: none"> 研究の強化・充実に向けた検討 研究の進捗状況を報告 	<3/15> <ul style="list-style-type: none"> 研究成果の報告 次年度以降の研究に係る検討
拠点設置検討部会 (非公開)	静岡県が目指す大学院大学の設置に向けた検討	<6/6> 大学院大学の構想策定に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> 需要調査の検討 基本理念、養成する人材像等の検討 	<9/7> <ul style="list-style-type: none"> 大学院大学の構想(素案)の検討 	<12/26> <ul style="list-style-type: none"> 大学院大学の構想(案)の検討

<社会健康医学研究推進基本計画の基本方針>

人材の育成

社会健康医学の研究を推進し、成果を県民に還元するための人材育成について、方向性、育成すべき人材、育成手法について示します。

<育成すべき人材>

- 地域医療のリーダーとなる「医療専門職」
- 各地域の現場で健康増進施策を担う「健康づくり実務者」
- 長期かつ継続的に研究を行う「研究者」

拠点となる仕組みの構築

社会健康医学の研究を推進し、成果を県民に還元する人材を育成するため、拠点となる仕組みについて短期的取組と長期的取組を示します。

<短期的取組>

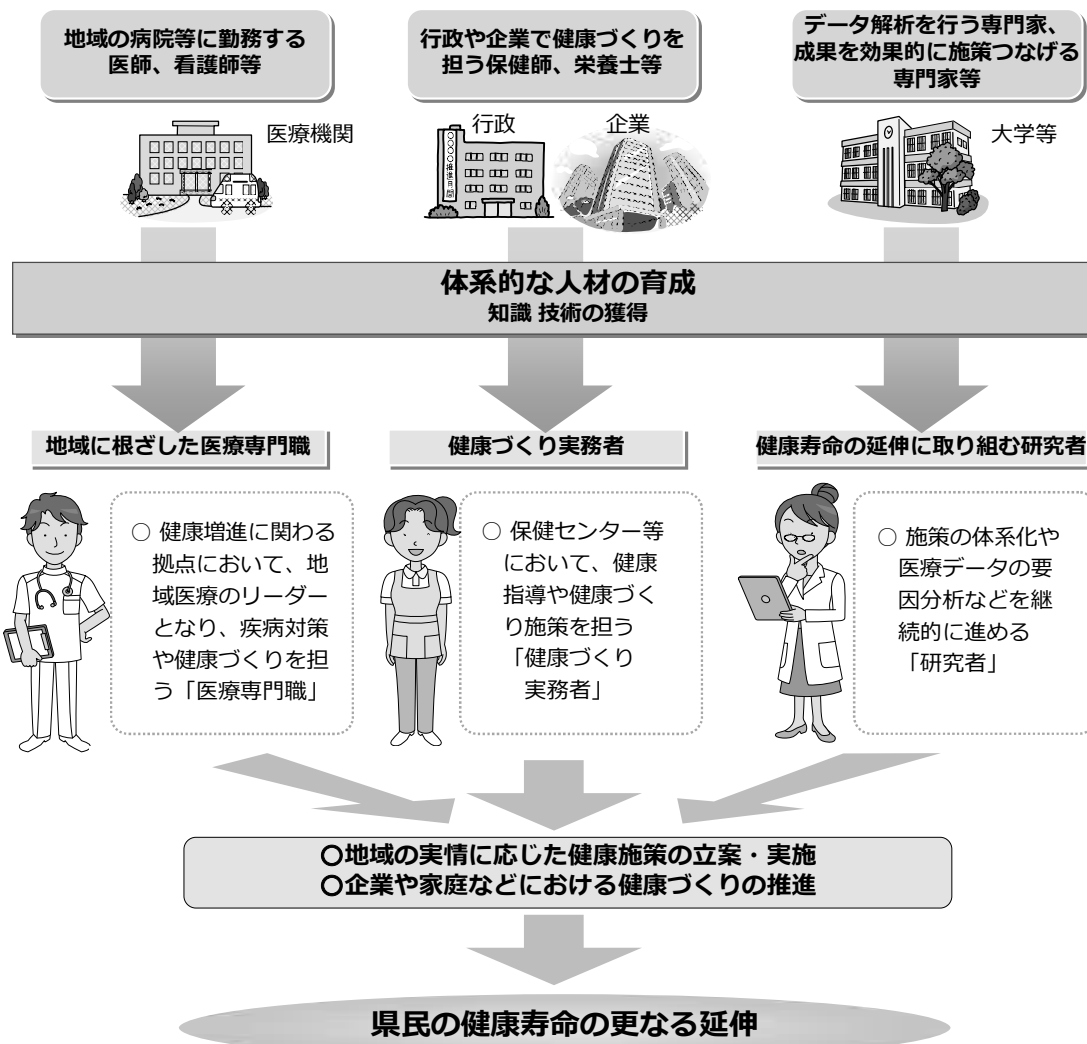
- 既存の研究施設等を活用し、早期に取り組みることができる研究に着手

<長期的取組>

- 長期かつ継続的な研究を推進し、人材を育成するため、将来的に「地域の健康寿命の延伸に特化した学問を習得することを目的」とした大学院大学を設置

<人材の育成のイメージ図> 計画書 p31、39 から抜粋

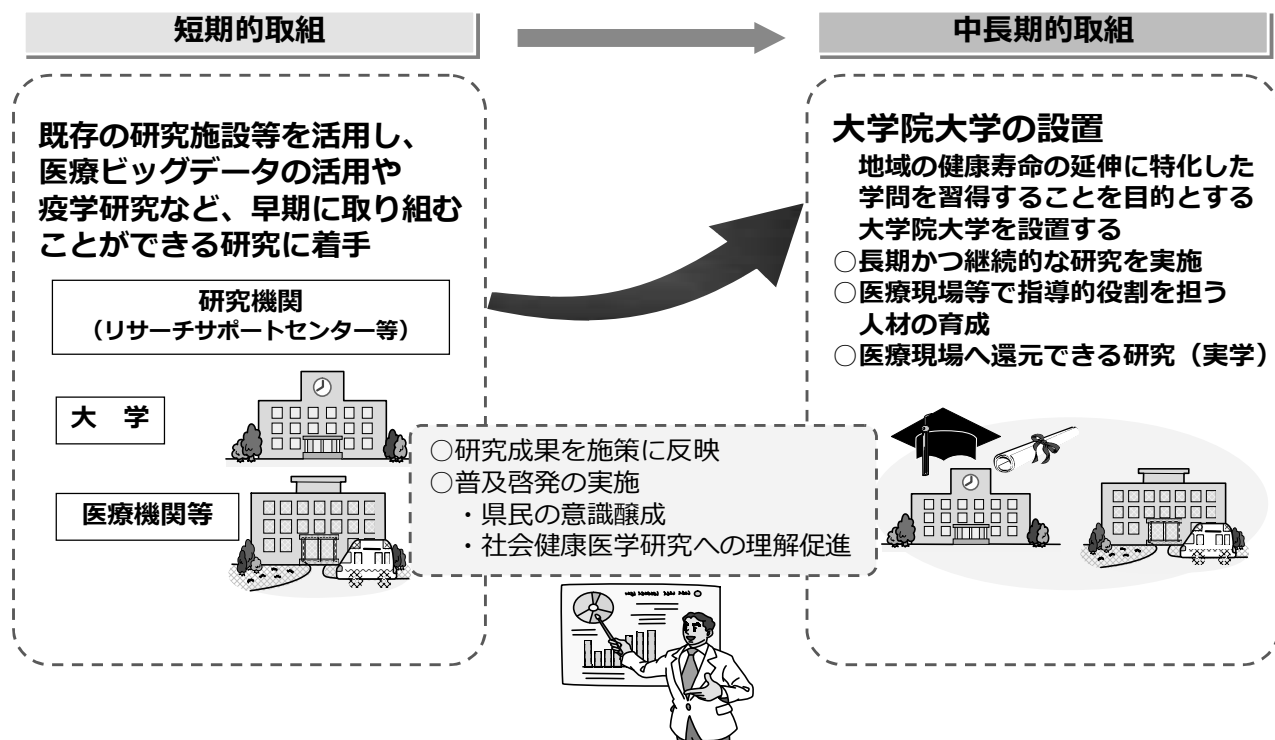
○社会健康医学の研究を長期かつ継続的に推進し、研究の成果を県民に分かりやすい形で随時還元するため、研究や取組の担い手となる「医療専門職」、「健康づくり実務者」、「研究者」などの人材を育成します。



<拠点の設置に向けたイメージ図>

計画書 p52、54 から抜粋

- 短期的には、静岡県立総合病院内に新たに設置されたリサーチサポートセンターなどの研究施設等を活用して早期に研究に取り組み、県民へ研究成果を還元します。
- 中長期的には、研究体制を充実し、静岡県が社会健康医学研究の拠点となるため、将来的に、地域の健康寿命の延伸に特化した学問を習得することを目的とする大学院大学を設置します。
- 短期的な取組と中長期的な取組を組み合わせて行うことにより、社会健康医学の研究を推進します。



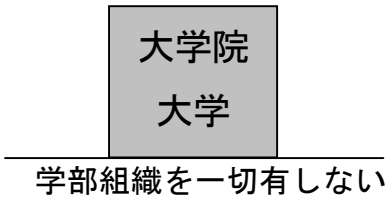
<第1回推進委員会での御意見>

- ・ 医療ビッグデータの活用や疫学研究には、生物統計の専門家が必要。
- ・ 在宅医療においては、専門看護師のニーズが高まっている。
- ・ 研究をサポートするプロジェクトマネージャーやリサーチナースが不足。
- ・ 研究成果を分かりやすく説明するヘルスコミュニケーションの知識を持った人材は大切。
- ・ 現在の職場に在籍しながら、研究できる環境が必要。県は、キャリアを継続しながら学ぶことができる仕組みをつくるべき。

<想定する大学院大学の課程>

修 士 課 程	
目 的	研究者の養成、高度専門職業人の養成
標準修業年限	2年
修了要件	30単位以上、修士論文作成（研究指導）
学 位	修士（社会健康医学）

<想定する大学院大学の形態>

形 態	説 明
<p>【大学院大学】</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○リサーチサポートセンター社会健康医学研究センターの研究体制を充実し、将来の大学院大学へ発展 ○学部組織を一切持たない、研究科（大学院）のみを設置